

学校法人椋山女学園の事業に関する中期的な計画

2019年11月29日制定

I 学園の中期的方針

椋山女学園は、1905年の名古屋裁縫女学校開校以来、創設者椋山正弼の「女性により高い教育を」という先駆的な夢の実現に向けた言葉と、人間完成を目指した「人間になろう」という教育理念とともに発展をつづけ、保育園から大学・大学院までを有する女子総合学園となった現在まで、社会が求める有為な人材を多数輩出してきた。

学園を取り巻く現代社会は、新しい知識や情報、技術等が様々な領域における活動の基盤となる知識基盤社会であり、その変化は人口減少、高齢化、グローバル化や価値観の多様化等の進展とともに加速度を増しており、予測困難な時代を迎えている。こうした社会の大転換を乗り越えるべく、本学園は、教育理念「人間になろう」を根幹に据え、総合学園としての絆を確認し、その総合力による質の高い教育によって、時代に応じた人間の育成に邁進していく。

本学園はこのような理念・目標を念頭に置き、向こう5年の中期的計画期間において、特に以下の5点の基本方針を掲げて事業を行う。

- ①「学士力」「就業力」「社会人基礎力」等時代に合った人材育成を進めていくが、学園の教育理念「人間になろう」を引き続き堅持し、さらにその具現化を図る。
- ②女子教育の今日的意義を明確にしながら、幼稚園、こども園、保育園を除き女子教育を堅持する。
- ③女子総合学園、女子総合大学のメリットを活かす一貫教育、連携教育を行い、教育並びに研究の充実を図る。
- ④少子化に対応できる積極的な経営を貫いて健全な財政を樹立し、経営の安定化を図る。
- ⑤教職員が協働することにより、一体感のある風通しの良い学園運営を行う。

II 学園全体

1. 教育の質的向上

女子総合学園として人材の育成及び学術研究の発展を通じて教育研究機関としての社会的責任を自覚し、教育振興基本計画等の我が国の教育政策の方向性に沿って、各学校段階における教育研究活動を改善、充実するとともに、一貫教育及び連携教育を推進していくことにより、学園全体の教育の質的向上を図る。

2. 組織体制の強化

学園の各機関の責任と権限の明確化により、学校法人としての自律的なガバナンスの改善・強化を図り、コンプライアンスに努めるとともに、教育研究に関する情報及び財務情報等を積極的に公開することによって、社会からの信頼と支援を得る。また、ICT活用による業務運営の効率化やSD推進による職員の人材育成により、学園及び各学校の組織体制を強化する。

学園内に設置する大学附属保育園、センター等においては、それぞれの設置目的に沿って社会貢献及び学園全体の教育研究活動の充実に資するよう事業を展開する。

3. キャンパス整備・財務

キャンパス整備にあたっては、学生生徒等の学修及び教員の教育研究活動を推進するために、校地、校舎を始めとする施設及び設備の維持管理を行うこと、並びにそれら施設設備のバリアフリー化等安全性の向上、衛生面や環境に配慮した設備の拡充等、利用者の立場に立った快適な環境整備を行う。

財務面においては、将来の校舎等の施設設備の改修や建て替えに伴う資金を確保するため、冗費を抑えて、毎年10億円を継続的に積み立てることなどによって、経営状態を向上させる。

Ⅲ 椋山女学園大学

◆ビジョン

女性のライフステージを意識し、「トータル・ライフデザイン」を主導コンセプトとして教育研究を展開し、これまで以上に受験生から選ばれ、社会から信頼されることを目標とする。

「トータル・ライフデザイン」とは、女性が社会で自立して生きていくための力を養成し、仕事と生活との最適なバランスを図りながら、それぞれのライフステージ毎の課題を乗り越えていくことをめざして、生涯というタイムスパンで自分自身の人生設計を行うことを意味する。

◆具体的行動

上記のビジョンを達成するため、次の具体的行動をとり、教育改革を実践していく。

1. 教育内容の充実

学生が主体的に学ぶ姿勢を醸成し、成長を実感できる教育を行い、主体的・対話的で深い学びを実現する。

- ①教養教育科目の充実
- ②柔軟な学部教育の推進
- ③ジェンダー教育の推進
- ④食育の推進
- ⑤他大学との単位互換制度の充実
- ⑥教員の研究を促進する体制の整備
- ⑦教育の内部質保証の実施（学習成果の可視化、FD活動の活発化、第三者評価の実施）
- ⑧大学院教育の充実

2. 学修支援

学生の多様なニーズに応じた学修支援を行い、教育効果を高めるとともに、学生が学修を深めることができる環境を整える。

- ①学習ポートフォリオ (Success) の活用
- ②学生の主体的な学習のサポート
- ③きめの細かい指導体制の確立
- ④アクティブ・ラーニングの活用
- ⑤図書館機能の充実
- ⑥ICTの活用

3. 学生生活

学生間、学生と教職員など、学内コミュニケーションの一層の充実を図り、必要なサポートがすぐに得られる安心・安全で健康的なキャンパスライフを実現する。

- ①快適な学生生活環境の提供
- ②学生サポートの充実
- ③経済的支援
- ④海外留学等の機会の提供
- ⑤ハラスメントのないキャンパスの実現
- ⑥危機管理体制の整備

4. キャリア支援

学生が就職、進学など進路についての希望を実現できるように、支援体制の充実を図り、就職の「質」を向上させ、卒業後も生涯にわたり支援する。

- ①キャリア育成センターの充実
- ②キャリア育成センターと学生相談室、学修・生活指導教員との連携
- ③インターンシップの充実
- ④ニーズを把握するアンケート調査の実施とフィードバック
- ⑤各種資格取得の支援
- ⑥大学院進学を志望する学生に対する支援
- ⑦国家資格及び公務員志望学生に対する支援
- ⑧同窓会組織との協働によるリカレント教育の推進

5. 学生確保

教養から実学まで、在学生から卒業生・社会人まで、幅広い学びの要求に応えることによって、安定した定員管理と質の高い学生の確保を実現する。

- ①適時適切なアドミッションポリシー
- ②入学者の安定的確保
- ③ねらいを絞った効果的な入試広報
- ④多様な人々に開かれた入試制度
- ⑤IRを中心とした調査研究

6. 社会連携

地域社会の様々な主体との連携を進め、本学の教育・研究の活性化と発展を目指し、地域社会に貢献する。

- ①他大学との連携
- ②行政組織との連携
- ③星が丘エリアのまちづくりへの参加
- ④産業界・地域社会との連携促進
- ⑤子育て支援・幼児教育拠点施設としての相山こども園の活用

7. マネジメント

教学組織の持続的な改革を通して、資源の最適配分を計画・実行するマネジメント力を一層強化する。

- ①教学マネジメントの機能強化
- ②ハード（施設整備）とソフト（教育）一体となった教育改革の実施
- ③各種センターの整理・集約による機能強化
- ④学内広報機能の充実
- ⑤総合学園のメリットを活かした教育の展開

IV 椋山女学園高等学校・中学校

1. 基本方針

女子総合学園における中学校・高等学校としての位置づけを明確にし、中高一貫体制によるカリキュラムや授業内容の充実による生徒の学力の向上、学校行事や生徒会活動等を通じた自主性の育成、基本的な生活規律の確立等を目指して、併設の学校・園と協力しながら教育を行う。

2. 教育活動

「人間になろう」の教育理念の下に行う特色ある教育によって、体力の増強、学力の推進、モラルの確立及び情操の育成という教育目標の達成を目指す。

教員の指導力向上と生徒が主体となった自律的な学習習慣の確立、学習環境の充実とシラバスの作成及びその効果的な実践により、基礎学力の向上を図る。

中学校から高等学校への進路指導、併設大学を中心とする大学進学者への進学指導等の生徒の進路決定に対してきめ細かくサポートし、早期の段階から職業やキャリアについて考える機会を提供し、キャリア意識の涵養を図る。

3. 生徒募集

入試実施形態の改善など、総合学園としての展望を持った生徒募集政策を策定し、本校の魅力を発信するための効果的な広報を展開し、生徒募集にかかる各種企画の充実を図る。

V 椋山女学園大学附属小学校

1. 基本方針

教育理念「人間になろう」を教育の根幹に置き、校訓「強く、明るく、美しく」の具現を目指した教育の推進を図る。

2. 教育活動

女子総合学園の一翼を担って一貫教育を推進し、少人数教育も取り入れながら、児童一人ひとりの個性を尊重し、知・徳・体の調和のとれた心身を育む。

学習指導要領に依拠しつつ、様々な教育活動によって本校教育の内容を質的に向上させ、「生きる力」の深化と定着、学力の向上、児童自ら学ぶ意欲の向上に努める。

3. 児童募集

特色ある独自の教育の実践内容を積極的に社会に情報発信し、幼稚園や保育園とのつながりを強化して募集活動を充実する。

VI 椋山女学園大学附属幼稚園

1. 基本方針

教育理念「人間になろう」を根幹とし、創立以来の伝統を継承しつつ、新たな時代を見据えた幼稚園として、健康な心と体、自己発揮、人間関係力、道徳性の観点から幼児教育を行う。

2. 教育活動

幼稚園教育要領を踏まえて、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域に沿って教育課程を編成し、「幼稚園教育において育みたい資質・能力」を培う。

大学の附属園として大学の様々な専門分野と関わりながら、学園内の他の学校・園とも連携した教育・保育を展開する。

3. 園児募集

本園の教育活動の特徴を常時発信するとともに、説明会や見学者の受入れにより、本園の教育方針等について入園希望者の理解を得る。

VII 椋山女学園大学附属椋山こども園

1. 基本方針

教育理念「人間になろう」にのっとり、人間形成の基礎を培い、園児の健やかな成長にふさわしい環境を整えて、園児の心身の発達を助長することを目指す。

2. 教育・保育活動

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、健康な心と体、人間関係力、主体性、自己表現という観点に留意して教育・保育を進めていく。

大学の附属園として、大学の様々な専門分野の教員等と連携するとともに、学園内の他の学校・園とも連携した教育・保育を展開する。

3. 園児募集

本園の教育・保育活動の特徴を常時発信するとともに、入園希望の見学者の受入れにより、本園の教育・保育方針等について理解を得る。